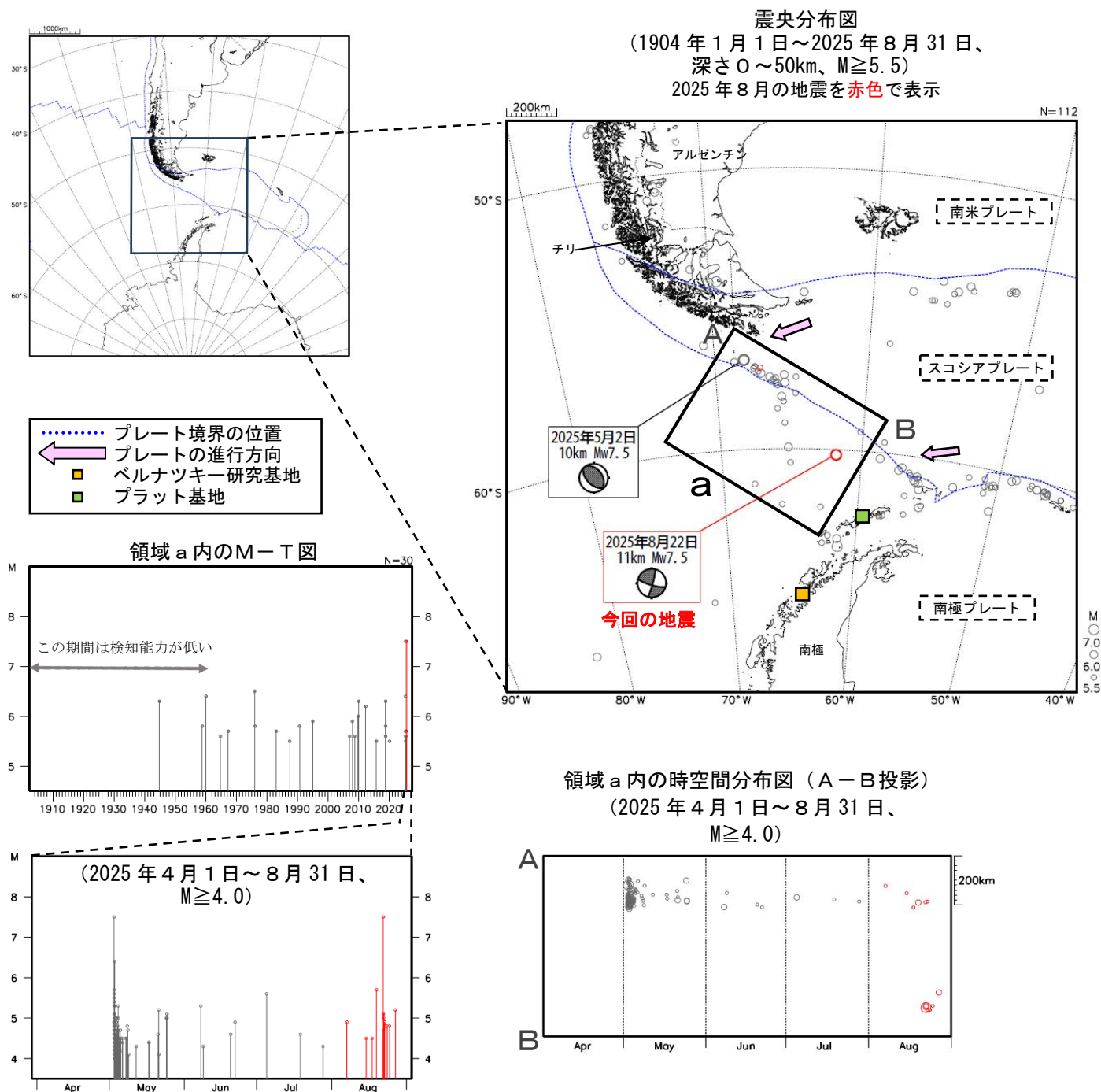


8月22日 ドレーク海峡の地震

2025年8月22日11時16分（日本時間、以下同じ）にドレーク海峡の深さ11kmでMw7.5の地震（Mwは気象庁によるモーメントマグニチュード）が発生した。この地震は南極プレート内で発生した。発震機構解（気象庁によるCMT解）は東北東-西南西方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型である。気象庁は、この地震について同日11時46分に遠地地震に関する情報（日本への津波の影響なし）を発表した。この地震により、プラット基地（グリニッジ島）で0.13mの津波を観測した。

2025年5月2日にはMw7.5の地震（Mwは気象庁による）の地震が発生し、ベルナツキー研究基地（ガリンデス島）で0.14mの津波を観測した。

1904年以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺（領域a）ではM6.0以上の地震が時々発生しているが、M7.0以上の地震はほとんど発生していなかった。



※震源要素は、2021年まではISC-GEM Global Instrumental Earthquake Catalogue Version 12(1904-2021)、2022年以降は米国地質調査所（USGS）による（2025年9月1日現在）。ただし、2025年5月2日及び2025年8月22日の地震の発震機構及びMwは気象庁による。津波の高さは米国海洋大気庁（NOAA）による（2025年8月31日現在）。被害は、宇津及び国際地震工学センターの「世界の被害地震の表」による。プレート境界の位置はBird(2003)^{*1}より引用。

^{*1} 参考文献 Bird, P. (2003) An updated digital model of plate boundaries, *Geochemistry Geophysics Geosystems*, 4(3), 1027, doi:10.1029/2001GC000252.